

ついでに レポート No. 450



日本共産党区議会議員 おぐり智恵子 の 議員活動報告

発行・日本共産党中央区議会議員団 Tel 3546-5563
HPアドレス <http://www.jcpchuo-kugidan.jp/>

18歳までの医療費無料化を早期に



中央区の新年度予算可決

区議会大会定例会で、2022年度予算が、賛成多数で可決されました。
日本共産党区議団は、以下の理由から予算案に反対しました。

反対の理由（抜粋）

● 新年度予算は「サステナブルシティ中央区を目指す」と題していますが、ゼロカーボンの2050年まで、あと28年しかありません。これから建設する建物は断熱基準の高いゼロエミッ

日本共産党区議団の「予算修正案」

日本共産党区議団は、予算特別委員会で2022年度の一一般会計予算に対する修正案を提出しました。

長引くコロナ禍で、暮らし、営業や、医療機関や介護施設で困難な現状が広がる中、党区議団は、都の実施に先駆けて子ども医療費助成の対象年齢を18歳まで拡大することなどを実現するため、一般会計を1億4,534万円増額する予算修正案を提出しました。

《歳入予算の修正内容》

情報公開の閲覧・視聴手数料の廃止-----	△74万円
NTT・東電などへの道路占用料を増額----	1億4,608万円

《歳出予算の修正内容》

議長交際費を半分に削減-----	△50万円
議員の費用弁償の廃止-----	△395万円
区長交際費を半分に削減-----	△200万円
生活保護世帯への見舞金復活-----	1,560万円
18歳まで医療費助成の対象を拡大-----	7,823万円
コロナ対策医療機関への支援金の支-----	5,510万円
学校給食食材費の補助を増額-----	1,631万円
学習力サポートテストの中止-----	△1,346万円

残念ながら「修正案」は否決されてしまいましたが、これからも粘り強く提案していきます。

ションビルをめざすことと合わせ、床面積の拡大を抑えていくまちづくりの転換が必要です。
● 予算計上された6地区の市街地再開発事業助成は179億円となり、一般会計予算の14%を占めています。
大規模開発には財政も投入して進める一方で、福祉や教育の施策は、施設も足りない、人員の配置も十分進んでいない状況が続いて

います。特別養護老人ホームの待機者は200人を超えており、学童クラブの不足も深刻です。こうした分野にもっと予算を投入していく必要があります。
● 後期高齢者医療の窓口負担2倍化は中止すべきです。



ブログに全文掲載中



2022年度予算で計上された日本橋地区の事業計画の主なもの

2022年度の一般会計予算は、当初予算として史上最高の1,248億円です。予算計上された主な新規・充実等の事業 93事業（計398億円）の内、日本橋地区に関連した計画を紹介します。

